

2014 3月

OIT Website  
http://www.oit.ac.jp

ひとことメッセージ

こうしたらもっと便利になるのに、楽に、早く作れるのに、他に方法はないか? といったことが工学(ものづくり)の原点です。いろいろなところにヒントが隠れています。

工学部 機械工学科 教授  
井原 之敏 (専攻:精密工学)



CONTENTS

卒業生に贈る言葉

卒業生のメッセージ

大阪モーターショーに出展 ⑥

学部長表彰 ⑦

学長表彰 ⑧



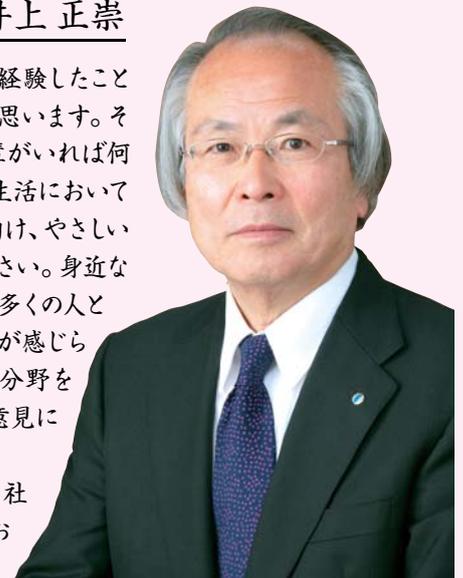
目標を持って自らを磨け

学長 井上 正崇

卒業おめでとうございます。日本経済は、円安による燃料の輸入増で過去最大の貿易赤字を出しつつも、海外投資でそれを吸収して何とか経常黒字を維持しています。一方、アメリカの金融緩和縮小に伴い新興国に金融不安の影響が現れ、世界経済に影を落としています。このように変化する経済状況の中、企業は高齢化が進む日本において成長戦略を描くに苦勞しています。そのため多くの企業はグローバル化が進む中でイノベーションの視点を持って働く若者に期待を寄せています。卒業生諸君には、ビジネスにおいても人生においても、イノベーションの視点を常に持ち続けていただきたいと思ひます。

会社や社会で働く時、学生時代に経験したことのない困難に直面することがあると思ひます。そのような時、信頼できる良き友や先輩がいれば何よりの力になってもらえます。日々の生活においては、自らも周りの人々や社会に目を向け、やさしい気持ちで接することを忘れないでください。身近な人との温もりのある生活はもとより、多くの人との交流ほど精神的な豊かさや安らぎが感じられるものではありません。自分の専門分野を超えて多くの人々と交流し、多様な意見に耳を傾け、自らを磨いてください。

卒業生の皆さんの今後の活躍と社会人としての健やかな成長を心からお祈りします。



# 祝卒業

## 卒業生・修了生に贈る言葉

このたびめでたく卒業・修了される皆さんへこれまでお世話になった先生方からお祝いのメッセージが届いています。

## 常に向上し続ける 社会人として飛躍を



副学長  
川田 裕

ご卒業おめでとうございます。この春に大工大を巣立って社会に旅立つ皆さんに、心から祝福をお送りします。本学のカリキュラムを終了し、4月から社会人として企業に進む方も多いことでしょう。

現在の日本はアベノミクスで、これまでの失われた20年といわれる長期の不振から回復しつつあり、社会の至る所で活気が戻っ

てきました。しかし、現在の日本には高齢化、エネルギー・環境問題、巨額の債務をはじめとする多くの課題を抱えて困難な道のりが待ち受けています。この中で日本が国際社会の中で繁栄し尊敬される国として地位を維持するには様々な分野で技術の発展と技術革新(イノベーション)を生み出して世界をリードしていかなければなりません。皆さんには日本の技術を支える人材として、変化の早い時代に勉強を継続し、常に最新の技術を身につけて向上し続ける社会人、エンジニアとして頑張ってくださいと思います。

皆さんが大学で身につけ得た知識や手法は、今後社会で必要とされる量のごく僅かですが、その考え方などは将来職場で必ず役に立つものと思います。環境が変わりますが規則正しい生活でくれぐれも健康に留意して充実した人生を送られることを祈念します。

## 強く、たくましく社会へ 巣立って行ってください



学生部長  
西川 出

みなさんご卒業おめでとうございます。

4年間の学生生活あるいは大学院での学生生活はいかがでしたでしょうか?楽しい日だけでなく、苦しい日もあったかも知れませんが、それも今から思えば楽しい思い出ではないでしょうか。ほとんどのみなさんは4月から社会人として活躍されることと思います。

大学での学生生活はみなさんの人生全体の長さから見れば短いものですが、内容の充実度を考えるとその2倍以上の価値があります。ぜひこの貴重な体験を忘れないで、今後の社会人生活に生かして行ってください。みなさんに輝かしい未来が開かれますようお祈りいたしております。

## 大工大の伝統の継承を!



工学部長  
大学院工学研究科長  
西村 泰志

20歳あるいは30歳代前半の若い時の生き方が、それ以降の人生に大きく影響します。若い時に、大工大で学んだ専門分野の知識や技術をもとに、がむしゃらに仕事にあるいは勉学に励んでください。そうすることによって、仕事の面白さも分かってきますし、自分自身が更に何をなすべきかも自ずとわかってくると思います。そうすることは、自分自身のためでもありますが、大工大の発展にも関連しています。「大工大は就職に強い大学」と言われるのは、30年、40年前の先輩達が社会に出て、そのように努力した結果として今の状況があるのです。大工大の伝統を継承できるよう懸命に努力してください。

## 情報プロフェッショナルとしての 活躍を期待します



情報科学部長  
大学院情報科学研究科長  
大島 一能

ご卒業おめでとうございます。新たな門出を心より祝福します。

情報通信や情報システム・サービスの分野は、急速な発展を続けており、今後も一段と速いスピードで革新が生み出されて行くことでしょう。大学や大学院で学んだ基礎力・技術力をベースに、変化に対応できる実力を養い大きく成長してください。

みなさんが情報プロフェッショナルとして活躍するために心に留めて頂きたい3つの行動スタンスを紹介して励ましの言葉といたします。

- (1) 挨拶や対話力など社会人としてのスキルを高めよう。
- (2) 前向きに仕事に取り組み、成長への挑戦を続けよう。
- (3) 組織や業界の状況を知り、自らの目標を描いて前進しよう。  
健康に留意して、充実した社会人生活を送ってください。

## 常に学ぶ姿勢で挑戦を —努力は必ず報われる!



知的財産学部長  
大学院知的財産研究科長  
田浪 和生

ご卒業おめでとう。産業界で毎年若人を迎えて30有余年の経験の私から、期待を込めて3点の励ましを。

- ① 真剣に学ぶ方に、経験者は助けの手を伸べます。  
謙虚に学ぶ姿勢で先輩の方々とは交わっていきようではありませんか。
- ② 知財知識は今や産業の基盤です。コミュニケーションスキルを磨き、グローバルに活躍していきようではありませんか。
- ③ 健康は宝です。生きがいと仕事のやりがいを感じ取り、何事にも挑戦する気概を持って、新しい人生をきり拓いていきようではありませんか。

# 卒業生のメッセージ

## これからも常に謙虚に、学ぶ姿勢で



工学部 応用化学科  
文化会 OCF軽音楽部  
(株)アサヒケミカ 内定  
澤田 静香

### 向き不向きよりも前向きに!!

私が本格的に就職活動を始めたのは、部活動引退後の3月からでした。

周りの就活生に比べるとスタートが遅く、経験値の差を感じて焦ることもありましたが、部活動をいっけにしたいしなかつたので、気持ちを切り替えて全力で挑みました。

就職活動とは、自分との戦いです。自分をうまく出すことができずに、落ち込んでしまうことがありました。そんな時に、学科・部活の友人や家族の温かい励ましの言葉や支えが

あったからこそ、諦めずに最後まで頑張り、内定を勝ち取ることが出来たのだと思います。

私に携わってくださった、すべての人に感謝しています。

## これから就活に挑む後輩へ

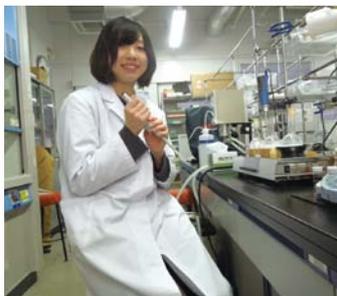
就職活動は、誰もが初めての経験です。

その道中には、悲しいことや辛いことがたくさんあり、どうしても気分が沈んでしまうことがあると思います。しかし、悲観的にならず、笑顔で前を向いて進んでください。

失敗を反省することも大切ですが、思い詰めた気持ちで就職活動をしていると、ふとした瞬間に雰囲気のでてしまい、企業にマイナスの印象を与えてしまいます。

他人と比べず、自分を信じ、自分のペースで頑張ってください。友人や大学の先輩に相談して、気分転換を試みるのも良いと思います。

皆さんの就職活動が、より良い結果になることを心よりお祈りいたします。



## “リケジョ”としての夢は膨らむばかり

この4月から、憧れの化粧品会社の研究職として勤めます。

研究職は、人の記憶に残ることの少ない、縁の下の力持ちな役割ですが、お客様が笑顔になっていただけるような、新商品を開発・製品化することが、私の夢です。

そのためにも、大学で学んだ知識を基盤に、さらに専門性を高めた勉強を行い、少しでも早く活躍できるようにがんばりたいです。

もちろん、仕事だけでなく、大好きな音楽にも触れ続けて、仕事もプライベートも充実した人生を送りたいと思います。



## クラブ活動を終えても、 次の挑戦は始まったばかり



知的財産学部 知的財産学科  
体育会 硬式野球部  
(株)大塚商会 内定  
吉田 大貴

### クラブ活動が与えてくれた仲間との時間

私は硬式野球部の主将としてチームを牽引してきました。リーグ優勝という大きな目標に向かうために主将として何が出来るのか、1人1人が何をすべきなのかを常に考えて活動をしていました。自分自身の技術向上はもちろんのこと、チームの戦力である後輩たちがしっかりと実力を出ることが出来るメリハリのある雰囲気作りにも力を入れました。その考えに共感し、支えてくれた仲間と大きな目標に向かって過ごした4年間はこれからの自分の大きな財産です。

## 広い視野を持つ

4年間の部活動で大きなことを学びました。それは、集団で1つのことを成し遂げることの難しさです。約60人の部員がいる硬式野球部では、試合に出場できない部員も多く存在しています。それぞれの部員が各々の考えを持ち、行動していたらチームとして1つになることは不可能です。1人1人がそれぞれ与えられた役割を果たすことがチームとしての成功につながることを実感しました。



## 夢をただの夢で終わらせない

私の夢は社会人として多くの人の役に立つことです。4月から勤める大塚商会で日本の社会がよりよくなるようにITの技術を広め、利便性のある社会づくりに貢献していきます。今はまだ専門的な知識もなく、わからないことだらけですが、部活動で培ってきた前向きな姿勢と忍耐力で、スケールの大きな仕事に挑戦していきたいです。



# 卒業生のメッセージ

## クラブや研究活動の中で

### 培った大切なもの

工学研究科 電気電子工学専攻  
大阪工業大学大学院博士後期課程 進学  
孫 屹

#### 6年間の充実した日々

大学院進学前の学部では、アイスホッケー部で頑張ってきました。4年間、仲間たちと一緒に練習して、遊んで、良かったことも辛かったことも今はすばらしい思い出になっています。

また、大学院での研究も楽しかったです。1年の時は授業も研究もあって、23時くらいに研究が終わり、それから晩ごはんを食べて、友人の家で授業の課題をした後、深夜に帰宅して、翌朝から授業を受けて研究する日々でした。振り返ると部活も大学院での研究も忙しくなるほどいい思い出になっています。

#### 在学中に苦労したことは

一番苦労したことはやはり大学院での研究活動だと思います。研究は授業での勉強と違い、すべて自分で考えながら進めなければなりません。研究の方針は決まっているが、それを達成するために何が必要となるか、何をすべきかを自分で考える必要があります。さらに、実験結果も正解がなく、自分で実験内容を考察し、何が良かったのか、何が悪かったのかを考える必要があります。そこから成果を見出すことにやりがいもありますが、苦労を感じました。



#### 研究機関から注目されるような成果を出したい

大学院を修了しても引き続き大学の博士後期課程へ進学することになったため、今のところ特に夢とかを考えていませんが、院生として今まで自分のできなかったことをさらに進めて、他の研究機関ではあまり注目されていない研究テーマを完成させて、同分野の方々に驚かせるような成果を出したいと思います。これからも先生方や共に研究する仲間たちとともに頑張っていきたいです。



## 学生生活で得た経験を糧に

### 子どもたちと共に学び続けたい



工学部 環境工学科  
大阪市中学校教諭(理科)  
大阪市教育委員会内定  
横矢 恵里

#### 全力で学生生活を楽しました

私は“何事も楽しむ”をスローガンに大学生活を送りました。大好きなロックバンドの真似がしたくて軽音楽部に入り、良い仲間に出会い、CDを3枚作りました。大学の思い出をきれいな写真で残したいと思い写真部に入り、いろんな表情の自分を知ることができました。世界中に友達が欲しくて、国際友好部に入り、英語を学んで、オーストラリア、中国、タイ、アメリカへ行きました。尊敬できる先生方に出会いしっかり学ぶことができ、中学校教諭になる夢がかないました。いっぱい泣いて、いっぱい笑って、充実の4年間でした。

#### あこがれの教員をめざして

学科の科目と教職科目の両方を履修していくにあたって、スケジュール管理が大変で、1週間があっという間に過ぎました。私は、大学進学までに、生きづらさを感じたことがあり、人の悪口や嫌がらせが大嫌いです。今後さまざまな逆境に出会うであろう子どもたちの身近な助けになりたくて教員という仕事を選びました。学んでいくうちに、自分の過去の辛い経験を克服していく必要があり、忙しい中で気持ちを整理するのが大変でした。



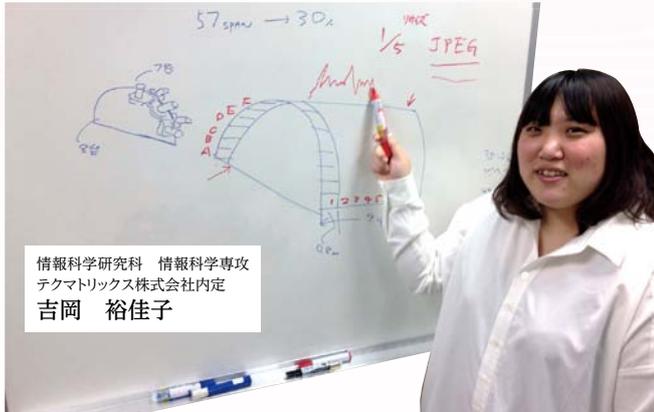
#### 挑戦する気持ちを忘れずに

赴任先の中学校では、工学部出身の教員ということを強みに理科を教えていきます。“おもしろい先生”になりたいです。私はオーストラリアへの短期留学やタイの留学生との交流で、国や民族によっていろいろな価値観や考え方があることを知りました。そして、あらゆる課題に対してみんなが向き合うことの大切さにも気づきました。挑戦する気持ちを忘れずに、どんな経験も自分自身の糧になると信じて、生徒と共に私自身も学び続けたいと願っています。



# 卒業生のメッセージ

## 知識と人間性を兼ね備えた社会人になる!



情報科学研究科 情報科学専攻  
テクマトリックス株式会社内定  
吉岡 裕佳子

### 教わる側から指導する側へ

学部生のときは先輩から教わる側でしたが、院生になり今度は自分が指導する側となったとき、最初は疑問に感じたことを聞く程度のことしかできませんでした。しかし、その疑問を持つことで、深く知ろうと自分でも調べて、考えることでアドバイスや指導ができるようになりました。何事にも、興味・関心を持って取り組むことが大事だと身をもって学ぶことのできた2年間でした。

### 私の目指す社会人

私の目指す社会人とは、「吉岡さんになら何でも任せられる!」と周囲から信頼されることです。しかし、何も考えず過ごしているだけでは私の目指す社会人にはなれません。そこで私は、こうすればいいなと思うことがあれば意見を言うようにし、頼まれた仕事があれば出来るだけ引き受けるよう心がけています。もちろん、忙しくて望まれている成果が出せないような状況であれば断ることもありますが、基本的には「何でもする!」という積極的な姿勢を心がけてきました。



### 自ら提案できる技術者に!

私は、研究でCGモデルを作成するシステムを開発していました。研究では、教授や同期、後輩がお客様のようなもので、「こういう機能が欲しい」、「それは使いにくい」などの意見を反映させたり、自分でももっと便利で、使いやすいするにはどうしたらいいかを試行錯誤する日々でした。社会人になってからは、大学生活での経験を活かし、よりよいシステムを開発するためにお客様に自ら提案している技術者になりたいと考えています。



## 夢追う双子 それぞれの軌跡



情報科学部 情報メディア学科  
情報科学研究科 情報科学専攻 進学  
赤松 克馬(右)  
赤松 雄馬(左)



### 身近にライバルがいる

私の身近にはライバルがいます。双子というもう一人の自分です。双子ということで、子どもの頃はよく比べられていました。そのことが嫌で、ときには喧嘩をしたり、隣に並ぶことを極端に避けていた時期もありました。しかし、今ではいいライバルであり、また、代えることのできないパートナーだと思っています。これからも、お互いに刺激し合い、今まで以上に頑張っていきたいです。(克馬)

### 研究を楽しむこと

大学生最後の課題として卒業研究があります。これは、普段の授業と異なり自分で考えて成果を出さなければいけないので、とても苦労しました。初めのうちは新鮮さもあり、研究に対してやりがいを感じていた反面、本当にこの研究を終えることができるのかという不安もありました。しかし、研究を楽しむことで研究に対する姿勢も変わり、前向きに考えることができました。これからも、楽しむという姿勢を忘れずに日々の研究に取り組んでいきたいです。(雄馬)



### これからの夢について

私たちの将来の夢は人の生活を豊かにするような仕事をする事です。2人とも企業に就職し、プログラムの知識や経験を積み、自立した社会人になることです。そして、2人でアプリケーション開発などを行い、2人しか開発することのできないような新しいものづくりをしたいと思っています。(雄馬・克馬)

## 大阪モーターショーに出展

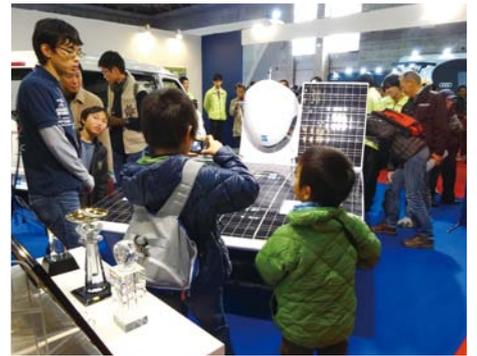
12月20日～23日、インテックス大阪で開催された「第8回大阪モーターショー」に本学のソーラーカーとソーラーコンバートEV(EV:電気自動車)を出展しました。これは国産・輸入車のコンセプトカーから最新のエコカー、バイクまでが集結する西日本最大級のモーターイベントで、今回は「人とつながる社会とつながるクルマはもっと進化する」をテーマに開催され、30万人を超える来場がありました。

本学が出展したソーラーカーとソーラーコンバートEVは、学生がプロジェクト活動の取

り組みとして作成したもので、ブース内にはソーラーコンバートEVのワイヤレス(非接触)充電システムを展示し、デモンストレーションも行いました。

今回の出展には約70人の学生・教職員が協力し、開催期間中は本学関係者や卒業生のほか、ソーラーコンバートEV開発で連携している奈良県川上村の方々など、多くの来場者で賑わいました。

学生からは「準備が大変でしたが、来場者の方に喜んでもらってよかったです。」などの感想が聞かれました。



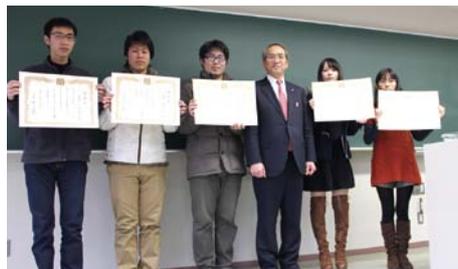
多くの来場者で賑わう本学のブース

## 奈良県川上村PRのウェブコンテンツ制作5作品が優秀作品に選定!栗山村長から表彰されました

今年も情報メディア学科3年次生の96人が、本学が連携協定を結ぶ奈良県川上村をPRするウェブコンテンツを制作し、5作品が優秀作品として栗山忠昭村長から表彰されました。表彰式は1月14日に、栗山村長はじめ審査をいただいた川上村地域振興課などの方々や井上学長、地域連携センターなどの本学関係者に出席いただき、枚方キャンパスにてとり行われました。

この取組みは、PBL(課題解決型学修)型授業科目「情報メディア専門演習」(必修)の一環で、マルチメディア技術を駆使したコンテンツ制作を通じて、学生が「想像力」「企画力」を生かして実践的な技術力を体得することを目的とするものです。同村にとっては、若

者の感性を地域の活性化に役立てることを狙いとしています。今年の3年次生は、新入生オリエンテーションの機会に川上村を訪問しており、豊かな森や美しい自然、物づくりの体験などを題材に、独自キャラクターの創作や、



栗山村長と表彰者の記念撮影  
(左から 久保君、嶋田君、山本君、栗山村長、足立さん、霜野さん)

ゲーム仕立てで村の魅力をアピールしています。「川上村」で検索して同村ホームページから表彰作品をぜひお楽しみください。



表彰者によるプレゼンテーションの様子

## カウンセラーのひとり言 あなたが「できる」理由

カウンセラー 山下 彩

2014年12月に惑星探査機「はやぶさ」2号機が打ち上げられます。帰還予定は7年後です。昨年、「はやぶさ」1号機プロジェクトマネージャー、川口淳一郎氏のお話を聞く機会がありました。印象的だったのは、「“できる理由”を探してください」という言葉でした。人は(ことに日本人は)ともすると、“できない理由”を探しがちであるからと。

「はやぶさ」1号も帰還に7年を要し、その過程は困難とトラブルの連続だったそうです。しかし、同氏の所属する宇宙科学研究所は、「『これこれだからできない』とは言わず、『こうすればできる』と発想する人ばかりが集まっていた」(川口淳一郎著「はやぶさ

式思考法)より)そうです。

履歴書を書く季節になると、「自分の長所が思いつかない」という言葉をよく聞きました。真面目な人ほど自分の問題点に目が行ってしまうのかもしれませんが。難しくければ、自分をよく知る人と話してみてもいいし、本を開いてみてもいい、少し旅に出てみてもいい。

同じ時間とエネルギーを使うなら、“できない理由”を数えるより“できる理由”を探したほうが、きっと実りがある。

区切りとなる3月、次年度の日々が皆さんにとって、より良い時間となりますように。

## 心理学アラカルト 「自分に合った睡眠とは？」

カウンセラー 神代 未人

3月といえば進級・卒業間近。新しい環境での活動に備える時期ですね。活動的な時期には思わず無理をしがちです。少し、睡眠などの休息について考えてみませんか。

睡眠は、人の一生の3分の1にあたると言われます。実際の平均睡眠時間は、6～10時間程度です。睡眠は「ノンレム睡眠」と「レム睡眠」を繰り返しますが、これらは1サイクルに1.5～2時間かかり、一晩の睡眠ではこれが4～5サイクルします。強調しておきたいのは、睡眠の1サイクルの時間や、その繰り返しの回数には個人差があるということです。よい休息のためには、まずはどれだけ

眠ればすっきりするか、自分に合った睡眠時間を見つけ、そして、その睡眠時間を確保しましょう。寝過ぎや夜更かしがあったら、2日が3日以内で収支を合わせると疲労が残りにくいようです。

また、レム睡眠時にみられる夢は、日中の心残りを整理したり、心が体験していることを表現したりと、心のバランスを保つ機能があると考えられています。精神科医の中井久夫は、睡眠は生活の「有能で老練な助手」であると言っています。睡眠や夢が働きやすい眠りの時間を確保して、「助手」のためのよい環境を保っておきたいものです。



# 4年間の集大成 — 建築学科、空間デザイン学科卒業展示会 —

工学部建築学科と空間デザイン学科がそれぞれ卒業研究展示会を行いました。

建築学科は2月14日～17日、うめきたグランフロント大阪で開催し、会場には事前に学内審査を経て選ばれた模型やポスターなど27点が展示され、約400人が来場しました。

空間デザイン学科は、大学院生や4年生が努力して作り上げた作品約80点が2月26日～3月2日、大阪府立江之子島文化芸術創造センターで展示されました。

各審査会ではノミネートされた作品の公開プレゼンテーション、質疑応答が行われ、鋭い質問に対して的確に説明する4年生が、卒業後の活

躍を期待させる姿を見せてくれました。

なかでも山平武史君(W4)の作品「春雨」は、5000本の光ファイバーからなるディスプレイを出展、人が光ファイバーの中を通り抜ければ静電気で光がゆらめき幻想的な空間が演出される作品で審査員から高い評価を得て、最優秀賞に選ばれました。



W科最優秀賞 山平武史「春雨」

工学部では、学会・課外活動等で優秀な成績を収めた者および社会貢献した者に対して工学部長表彰を行っており、3月7日に以下の学生および団体を表彰しました。

## 工学部長表彰(2013年度 第2回)

### ▶ 工学部長表彰に輝いた学生たち

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>学芸賞(個人)</b>	
竹内 誠(MA2)	「The Pacific Structural Steel Conference (PSSC 2013)」にて英語による口頭発表
永峰 嶺子(MA2)	〃
河野 由佳(MA1)	「鋼構造年次論文報告集」に研究論文掲載 など
巽 信彦(MA1)	「国際シンポジウム」に研究論文掲載 など
相見 良樹(A3)	「キルコス国際建築設計コンペティション2013」にて中村竜治賞銀賞を受賞
池田 知行(DM3)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
田中 慎人(DM1)	〃
恵上 直樹(MM2)	〃
川上 泰広(MM2)	「国際会議Internoise2013」にて英語による口頭発表
河村 智博(MM2)	〃
木咲 秀彌(MM2)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
丸山 康之(MM2)	「先進材料と構造物の力学に関する中国・日本合同シンポジウム」にて英語による口頭発表
三藤 陽平(MM2)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
森政賢太郎(MM2)	「12th International Conference on Frontiers of Polymers and Advanced Materials」にて英語によるポスター発表 など
山下 大輔(MM2)	「国際会議Internoise2013」にて英語による口頭発表
北上 康之(MM1)	「12th International Conference on Frontiers of Polymers and Advanced Materials」にて英語によるポスター発表
大脇 智矢(MM1)	「第7回JSME先端生産技術に関する国際会議」にて英語による口頭発表
湖山 典英(MM1)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
大門 純平(MM1)	「12th International Conference on Frontiers of Polymers and Advanced Materials」にて英語によるポスター発表
陳 煥俊(MM1)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
錦織 大典(MM1)	「先進材料と構造物の力学に関する中国・日本合同シンポジウム」にて英語による口頭発表
西田 万里(MM1)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語によるポスター発表
松本 和真(MM1)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語による口頭発表
村岡 力夫(MM1)	「33rd International Electric Propulsion Conference」にて英語によるポスター発表

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>学芸賞(個人)</b>	
山地 政吏(MM1)	「第7回JSME先端生産技術に関する国際会議」にて英語による口頭発表
井上 史博(M4)	「9th High Energy Materials」にて英語による口頭発表
上野 徹(M4)	「FUZZY2013」にて英語による口頭発表
伊賀 雄一(MED2)	International Conference on ELECTRICAL DRIVES and POWER ELECTRONICS(EDPE)2013にて英語による口頭発表
孫 屹(MED2)	「12th International Conference on Laser Ablation」にて英語によるポスター発表
森口 航平(MED2)	「2013年国際固体素子材料コンファレンス」にて英語による口頭・ポスター発表
塚田 章(MED1)	「ICPERA 2013(the International Conference on Renewable Energy Research and Applications)」にて英語による口頭発表 など
松浦 啓朗(MED2)	「SPIE Laser Damage XLV Annual Symposium」にて英語による口頭・ポスター発表
熊谷健太郎(MED1)	「第9回国際レベルキャラクタリゼーション国際シンポジウム」にて英語によるポスター発表 など
細井 創介(MED1)	〃
山崎 諒太(MK2)	「日本接骨学会誌」に研究論文掲載
坂井 勇亮(ML2)	「2013年度国際生体医工学学会大会」にて英語による口頭発表
宮地 康祐(ML2)	「IEEE/SICE International Symposium on System Integration 2013」にて英語による口頭発表
<b>課外活動賞(団体)</b>	
(代表者)前田 拓弥(R4)他1名	「第6回先端ものづくりチャレンジ2013イン習志野」にて技術賞を受賞
<b>課外活動賞(個人)</b>	
酒見 謙一(MED2)	「公益財団法人 小野聖学会」にて課外活動優秀者として表彰
<b>善行賞(団体)</b>	
(代表者)川窪 俊行(MM1)他11名	関目小学校PTA主催親子レクリエーション出張工作教室への参加 など

## 情報科学研究科長・学部長表彰(2013年度)

情報科学部では、学業成績や研究成果が優秀な者などに対して学部長表彰を行っており、今年度卒業生は3月22日に表彰しました。

### ▶ 情報科学研究科長・学部長表彰に輝いた学生たち

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>《学業優秀賞》</b>	
粟田 大智(IC) 徳田 貴昭(IC) 中崎 満晶(IC)	学業成績が優れ T-GPA、総取得単位数が他の模範となった者
岡野 友輝(IS) 武田 圭水(IS) 福井 弘人(IS)	
川村 徳真(IM) 宮本 崇弘(IM) 森本 恭将(IM)	
児島かおり(IN) 四宮 慎也(IN) 竹内 祐太(IN)	
<b>《研究優秀賞》</b>	
粟井 修司(M2)	「映像情報メディア学会誌」に論文掲載
岸田 京平(M2)	「The 2013 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai」にて卒研成果を発表
粟田 大智(IC)	「教育システム情報学会 学生研究発表会」にて卒研成果を発表し、優秀発表賞を受賞
田頭 勝短(IC)	「教育システム情報学会 学生研究発表会」にて卒研成果を発表し、優秀ポスター発表賞を受賞
前田 祥宏(IC)	「アドバンティ シンポジウム2013」にて卒研成果を発表
宮本 優(IC)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
西田 巧(IS)	「日本堆積学会2014年 山口大会」にて卒研成果を発表
中川 徹(IS)	〃
福井 弘人(IS)	「2014年電子情報通信学会 総合大会」にて卒研成果を発表
丸岡 充尚(IS)	〃
森 拓馬(IS)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
足立 奈生(IM)	「情報処理学会 インタラクティブ2014」にて卒研成果を発表
有本 豊洋(IM)	「電子情報通信学会MVE研究会」にて卒研成果を発表
岡崎光太郎(IM)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
奥 勝善(IM)	「2014年電子情報通信学会 総合大会」にて卒研成果を発表
神戶 貴宏(IM)	「第14回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会」にて卒研成果を発表
黒川優太郎(IM)	「電子情報通信学会 音声研究会」にて卒研成果を発表
阪本 毅(IM)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
佐橋 亮介(IM)	「第14回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会」にて卒研成果を発表
杉崎 俊太(IM)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
杉谷 正成(IM)	「電子情報通信学会MVE研究会」にて卒研成果を発表
鈴木 小太郎(IM)	「情報処理学会 第76回全国大会」にて卒研成果を発表
中井 拓自(IM)	「2014年電子情報通信学会 総合大会」にて卒研成果を発表

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>《研究優秀賞》</b>	
平野 善之(IM)	「日本音響学会 2014春季研究発表会」にて卒研成果を発表
宮本 崇弘(IM)	「電子情報通信学会MVE研究会」にて卒研成果を発表
森 郷土(IM)	「情報処理学会 インタラクティブ2014」にて卒研成果を発表
吉山 達也(IM)	「電子情報通信学会 音声研究会」にて卒研成果を発表
片岡 宏樹(IN)	「2014年電子情報通信学会 総合大会」にて卒研成果を発表
京塚 晃年(IN)	「日本堆積学会2014年 山口大会」にて卒研成果を発表
下西 達也(IN)	〃
杉山 諒介(IN)	〃
須山 大智(IN)	「アドバンティ シンポジウム2013」にて卒研成果を発表
山本 真也(IN)	「日本堆積学会2014年 山口大会」にて卒研成果を発表
<b>課外活動功労賞(団体)</b>	
(代表者)国山 字弘(IM)他3名	「北大阪商工会議所主催地域企業紹介プロモーション動画制作プロジェクト」にて北大阪商工会議所地域企業紹介プロモーション動画制作プロジェクト会頭賞を受賞
<b>課外活動賞(個人)</b>	
赤松 雄馬(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて金賞を受賞
赤松 克馬(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて銀賞を受賞
足立 奈生(IM)	〃
小池 裕平(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて構成賞を受賞
中島 勇介(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて企画賞を受賞
宮原 宏樹(IM)	〃
宮本 明莉(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にてデザイン賞を受賞
京本 崇弘(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて演出賞を受賞
森本 恭将(IM)	「2012年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にてテーマ賞を受賞
稲野 美沙子(IM)	「2013年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて金賞を受賞
足立 万那(IM)	「2013年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて銀賞を受賞
嶋田 宗馬(IM)	「2013年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて企画賞を受賞
山本 大喜(IM)	「2013年度川上村PRコンテンツ制作プロジェクト」にて技術賞を受賞
久保 勇人(IM)	〃

# 知的財産研究科長・学部長表彰(2013年度 第2回)

知的財産研究科・学部では、資格取得や本学主催行事等で特に優れた貢献をした者に対して、標記の表彰を授与するものであり、3月4日に実施しました。

## 知的財産研究科長・学部長表彰に輝いた学生たち

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
ホウ ヒン(MP2)	特に優れた学業成績を上げた者、特別研究において、特に優れた論文を執筆した者
佐藤 祥徳(MP2)	特別研究において、特に優れた論文を執筆した者
藤木 玲奈(MP1)	知的財産管理技能検定2級合格
周 暁宇(MP2)	TOEIC700点以上取得
藤田 優作(MP1)	リサーチアシスタント(RA)活動において特に優れた貢献をした者(JICA総括マネージャー)
井戸家ゆかり(MP1)	〃
岡本 由希(MP1)	リサーチアシスタント(RA)活動において特に優れた貢献をした者(JICA)
矢野 聡(MP1)	〃
古 舒珊(MP1)	〃
大原 純子(MP1)	〃
辻本 佳世(MP1)	〃
大江 史佳(MP1)	〃
山脇 佑介(P3)	特に優れた学業成績を上げた者
清水 純(P3)	知的財産管理技能検定2級合格
中野 陽太(P3)	〃
畑中 敬大(P3)	〃
高橋 一成(P2)	〃
小林 史弥(P3)	TOEIC650点以上取得

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
足立佳奈美(P3)	ビジネス著作権検定上級合格
太田 有香(P2)	課外活動プロジェクト「知財PR隊」として特に優れた貢献をした者(JAXAシンポジウム企画・運営)
齊藤 優理(P2)	〃
大井川弥生(P2)	〃
森 育美(P2)	〃
井原 駿也(P1)	〃
勝田 鴻(P1)	〃
松田 英治(P1)	〃
柏木 祐里(P2)	課外活動プロジェクト「知財PR隊」として特に優れた貢献をした者(模擬国際会議での発表)
小西さくら(P2)	〃
梅本 英美(P2)	〃
マ ショウ(P2)	〃
横 亜桜衣(P2)	〃
脇田 燦志朗(P2)	〃
和田 匡弘(P2)	〃
西川 大介(P2)	〃
松浦 弘奈(P2)	〃

# 学長表彰(2013年度 第2回)

学会や課外活動での優秀な成績を収めた者に対して、3月12日に学長表彰が実施されました。

## 学長表彰に輝いた学生たち

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>学芸賞(団体)</b>	
(代表者)西田 吉伸(MA1)計2名	第7回 長谷工住まいのデザインコンペティション 佳作入選
(代表者)西田 吉伸(MA1)計4名	第4回 アーバンデザイン甲子園 入選
<b>学芸賞(個人)</b>	
佐藤 寛容(MC2)	第6回河川の流砂に関する国際シンポジウム ポスター発表
西本 真洋(MC2)	関西G空間フォーラム2013 若手技術者・研究者のための技術研究発表会 優秀研究発表賞
赤松 弘騎(MC1)	近畿技術事務所 ふれあい土木展 研究対抗関西土木リーグ 奨励賞
岩崎 祥吾(IC4)	平成25年電気関係学会関西連合大会 連合大会奨励賞
丸田 千草(MA1)	学生設計コンペティション 住み継ぐ京 入選
塚本 賢(MED2)	平成25年電気関係学会関西連合大会 連合大会奨励賞
川窪 俊行(MM1)	日本鉄道工学会関西支部 学生・院生・若手研究者・技術者による発表大会 優秀発表賞
上田 尚弘(M4)	軽金属学会関西支部 若手研究者・院生による研究発表会 ベストポスター賞
江口 洋介(MK2)	日本接着学会関西支部第9回若手の会 ベストポスター賞
下嶋 康平(MK1)	〃
仲井 雄大(MK1)	第6回触媒表面化学研究発表会/日本エネルギー学会・石油学会合同研究発表会 「優秀研究員」「優秀ポスター賞」
加藤 圭介(W4)	京都建築学生の会 合同卒業設計・論文展 「建築家評論会」2位
高橋 隼奨(W4)	京都建築学生の会 合同卒業設計・論文展 「学生間講評会」4位

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
小西 優大(M4)	サイクリング部 ヒルクライムチャレンジシリーズ2013 養父 八幡高原大会 チャンピオン(個人)兼2位(男子)兼3位(女子)
藤本 優磨(M4)	準硬式野球部 第22回関西地区六リーグ対抗 大学準硬式野球大会 オールスター選抜 大会優勝
須崎 晶刺(M2)	卓球部 第90回 茨木市新人卓球大会 優勝
迫田 真(IN2)	空手道部 第23回世界寛水流空手道オープン選手権大会 一般段外の部 軽量級 第3位
上野 慎介(IN1)	空手道部 第23回世界寛水流空手道オープン選手権大会 一般段外の部 軽量級 優勝
上野 慎介(IN1)	空手道部 第19回全日本大学オープン選手権大会 個人戦 準優勝
岡田 翼(K4)	準硬式野球部 第22回関西地区六リーグ対抗 大学準硬式野球大会 オールスター選抜 大会優勝
柴田 浩輔(K4)	〃
山川 翔平(D3)	合気拳法部 第19回全日本大学オープン選手権大会 個人戦 優勝
笹山 泰生(R4)	[-30-20歳] 船場口ポットファッションコンテスト 総合グランプリ賞
村上 良(D3)	洋弓部 第42回 千島杯競技会 RC.フライトA 第3位
今井 勝彦(R1)	合気拳法部 第19回全日本大学オープン選手権大会 個人戦 準優勝

資格取得	内容等
川畑 裕行(IN3)	ネットワークスペシャリスト試験合格

善行賞(団体)	内容等
山野上祐司(MC2)	城北水辺クラブ 外米魚鯉大会等による城北水辺部の生態系再生への貢献 数年間わたる活動を評価

善行賞(個人)	内容等
榊原 直紀(C3)	地域クリーンキャンペーン活動 準優勝
竹越 巧也(C3)	〃
野中 康平(C3)	〃
松本 悠汰(C3)	〃
増田 章(MED1)	〃
原田 翔平(A3)	ライブラリーサポーター活動
吉村 晃人(A3)	〃
安藤 卓哉(M1)	〃
西川 鈴音(V2)	〃

# 学園新理事長に久禮哲郎理事を互選

常翔学園は、坂口正雄理事長の逝去に伴い、1月29日開催に理事会で新理事長を互選し、久禮哲郎(くれ てつお)理事を選任しました。

久禮理事長は、1969年本学応用化学科卒。アルフレッサファーマ株式会社代表取締役社長を務められました。学園では、2010年6月から評議員、監事、理事を経て理事長に就任されました。



# 坂口正雄理事長が逝去

常翔学園の坂口正雄理事長が1月25日、逝去されました。

ここに謹んでお悔やみを申し上げます。

坂口理事長は本学電気工学科卒業後、きんでん代表取締役副社長、メックス代表取締役会長などを務め、2003年7月から学園理事。2006年8月から第10代学園理事長を務められました。

在職中は、「学生・生徒、保護者、卒業生、教職員の四位一体」の体制強化を掲げ、人材育成や意識改革に取り組み、学園の持続的な成長を目指し、発展に寄与されました。

# 工大流就職支援

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。企業等への就職、大学院への進学等、卒業後の自分自身の進路を考え、悩みぬいた1年間、本当にお疲れ様でした。就職活動がうまくいかないときは「もっと勉強しておけばよかった」、「クラブに入部しておけばよかった」と、これまでの学生生活を振り返り、いろいろと後悔や反省をしたことがあったかもしれません。また、自己分析をすればするほど「弱い自分」や「ダメな自分」に出会ったこともあったでしょう。しかし、この1年間でそんな

# 就職 NEWS Vol.14

自分と真摯に向き合い、戦い、一歩前に踏み出せる自分に成長できたのではないのでしょうか。これから皆さんは社会に旅立ちますが、就職活動で成長した新しい自分で、次のステージでは後悔のない社会人生活を送ってください。今後は人生の先輩として、工大の後輩たちのために進路決定のためのよき相談相手としてご支援・ご協力いただけることと期待しています。最後に、皆さんの新天地でのご活躍をお祈りいたします。